

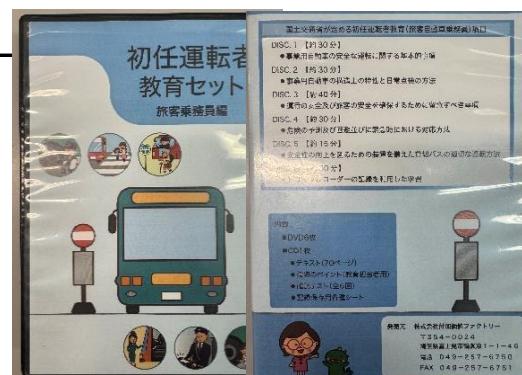
安全運転の実技指導の内容の公表について

令和7年度

「旅客自動車運送事業運輸規則第47条の7第1項の規定に基づき旅客自動車運送事業者が公表すべき輸送の安全にかかる事項等」（国土交通省告示第1089号）により一般貸切旅客自動車運送事業者が報告すべき事項に基づき公表します。

初任運転者に対する特別な指導の内容及び時間

1.事業用自動車の安全な運転に関する基本的事項	1.5 時間
道路運送法その他の法令に基づき運転者が遵守すべき事項及び交通ルール等を理解させるとともに、事業用自動車を安全に運転するための基本的な心構えを習得させる。	
2.事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法	2 時間
事業用自動車の基本的な構造及び装置の概要、及び車高、視野、死角及び内輪差等の他の車両との差異を理解させるとともに、日常点検の方法を理解させる。	
3.交通事故を防止するために留意すべき事項	2 時間
旅客自動車運送事業者の事業の態様及び運転者の乗務の状況等に応じて事業用自動車の運行の安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項を指導する。	
4.危険の予測及び回避	1.5 時間
道路、交通及び旅客の状況の中に含まれる交通事故につながる恐れのある主な危険を理解させるとともにそれを回避するための運転方法等を指導する。	
5.安全性の向上を図るために装置を備える貸切バスの適切な運転方法	1.5 時間
運転支援装置の性能及び留意点	
6.ドライブレコーダーの記録を利用した運転特性の把握と是正	1.5 時間
実技訓練中のドラレコ映像を利用して、初任運転者のクセや行動特性をつかみ、直すべきところは直すよう指導する。	
7.安全運転の実技	20 時間
<ul style="list-style-type: none">①実際に運転する自動車で実施②実際に運行する可能性の高い経路を踏まえ、市街地、坂道、隘路、高速道路等において実施③日中だけでなく、夜間の運転についても実施④適齢診断に基づき、加齢に伴う身体機能の変化に応じた安全な運転方法等指導<ul style="list-style-type: none">・急がず安全確認を確実に・たえず周りの人や車の動きを確認・動作に入る前に一呼吸おく・停まる/確認する・を確実に・常にやさかな気持ちで	



実技指導の内容

指 導 項 目		
A	身だしなみは適切か	a.一般道・夜間の走行（出発前の危険箇所の指導、自転車・歩行者の動き、停車中の安全確認、隘路の走行、右左折時の注意点、夜間走行の注意点等）
	言葉遣い、振る舞いは乗務員として適切か	
	点呼で正しく受け答えできているか	
	運行指示書の内容を理解しているか	
	乗務終了後の運行状況の報告は適切か	
B	運行前点検は適切か	b.高速道路の走行（ETCレーンの通過、本線への合流、排気ブレーキ等を使用した下り坂での走行方法、速度に応じた車間距離の確保、サービスエリアでの注意点等）
	乗車前、車両の周囲を確認しているか	
	座席位置、ミラー類の調整をしているか	
	座面に深く腰掛け、体が前後に傾斜していないか	
	正しくハンドルを持っているか	
	シートベルトは正しく着用しているか	
	ハンドルを握ってエンジンをかけているか	
	車格に応じた運転ができているか	
	サイドミラーでの確認は適切か	
	死角を意識した安全確認ができるか	
C	後退する前に安全確認をしているか	c.上り坂の走行（勾配が変わらない場合の一定のギヤの保持、見通しの悪いカーブでの注意点、道幅が狭いカーブでの注意点等）
	窓をあけて周囲の状況を目及び耳で確認しているか	
	最徐行で後退しているか	
	旅客の乗車を意識した発進になっているか	
	歩行者の側方の通過は適切か	
	横断歩道上の歩行者等に注意をはらっているか	
	自転車・バイクの追い越し方は適切か	
	駐車中車両の追い越し方は適切か	
	早めのブレーキ操作をしているか	
	交通弱者への配慮のポイントを理解しているか	
D	障がい者への対応方法は理解できているか	d.下り坂の走行(排気ブレーキ・リターダーの活用、実車と空車の違い、フットブレーキ使用時の注意点、シフトダウンの注意点、カーブの走行方法、ギヤ選択時の注意点)
	停車位置は旅客の乗降場所として適切か	
	旅客の降車に際しての注意は身に付いているか	
	降車の手順は適切か	
	呼称運転をしているか	
	車間距離は十分にとっているか	
	カーブのハンドル操作は適切か	
	補助ブレーキを適切に使用しているか	
	一時停止では確実に停止しているか	
	減速のタイミングや減速の程度は適切か	
E	進路変更時の合図の時期は適切か	e.乗客へのアナウンス（シートベルトの着用、非常口の位置と使用方法、非常ブレーキの位置と使用方法等）
	黄色信号では原則として停止しているか	
	交差点内では直進時も構えブレーキができているか	
	右左折時の合図の時期は適切か	
	右左折時の注意確認は適切か	
	右左折時の軌道は適切か	
	リア・オーバーハングに注意しているか	
	青信号から確認なしに発進していないか	
	ハイビームを適切に使用できているか	
	夜間走行に適した確認がなされているか	
	高速道路等で本線への合流はスムースにできているか	f.バス車両の特性（車両の死角、発車時のアンダーミラーによる前方確認、バックカメラの特性の理解、内輪差とオーバーハング、速度に合ったギアの選択）
	交通の流れに合わせた運行ができているか	
	高速走行の際に適した運転がされているか	
	適性診断の結果を理解した運転になっているか	
	適性診断で指摘された箇所に改善がみられるか	

2025年 実技指導の実施状況

実施時期	車種	指導ルート	指導者	指導内容
3/25~4/2	マイクロ・中型	G.H.I	SHO・SIM	①②③④ABCDEabcdf
5/2~5/16	マイクロ	G.H.I	SHO・SIM	①②③④ABCDEabcdf
3/25~3/31	大型	A.B.D.G	SI.SU	①②③④ABCDEabcdf
4/28~5/22	大型	A.B.C.D.E.F.G	SI.HO	①②③④ABCDEabcdf
11/11~11/15	大型	A.B.D.E.G	HO.SU	①②③④ABCDEabcdf
4/21~5.6	大型	E.F.G	YA.SAI	①②③④ABCDEabcdf
9/4~9/18	大型	E.F.G	SAI.AD	①②③④ABCDEabcdf
9/26~10/9	大型	E.F.G	SAI.NII	①②③④ABCDEabcdf

※指導者

SI 乗務歴	10年、指導歴4年
SU 乗務歴	35年、指導歴6年
HO 乗務歴	18年、指導歴4年、運行管理者
SHO 乗務歴	10年、指導歴4年
YA 乗務歴	10年、指導歴4年、運行管理者
I 乗務歴	11年、指導歴4年
F 乗務歴	10年、指導歴4年
SHI 乗務歴	9年、指導歴2年
SAI 乗務歴	5年、指導歴2年
NI 乗務歴	7年、指導歴2年
AD 乗務歴	9年、指導歴3年

※指導ルート

車庫内、車庫近辺、実際の運行ルートを原則とし、指導内容に応じて教育担当者が決定する。
A.東扇島～横浜駅
B.東扇島～川崎駅
C.川崎駅～かずさアカデミアパーク
D.八潮～品川駅
E.有明～国際展示場～豊洲
F.有明～新橋駅
G.高速教習 アクアライン・首都高速
H.富津市内
I.木更津市内
J.君津市内